



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月8日

上場会社名 フォースタートアップス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7089 URL <https://forstartups.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 志水 雄一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼コーポレート本部長 (氏名) 菊池 烈 TEL 03-6893-0650
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第3四半期の業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	871	△3.6	87	△64.3	93	△61.9	53	△66.3
2020年3月期第3四半期	903	—	246	—	244	—	159	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	16.39	14.94
2020年3月期第3四半期	54.40	—

（注）1. 2020年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については、2019年3月期第3四半期は四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

2. 2020年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
2021年3月期第3四半期	1,321	999	999	999	75.6	75.6
2020年3月期	1,130	882	882	882	78.0	78.0

（参考）自己資本 2021年3月期第3四半期 998百万円 2020年3月期 881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,170	△7.4	70	△77.3	75	△73.9	40	△80.3	12.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	3,404,600株	2020年3月期	3,137,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	－株	2020年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	3,285,169株	2020年3月期3Q	2,934,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、今もなお厳しい状況にあります。景気の先行きについては、新型コロナウイルスの拡大を防止しつつ社会経済活動を維持していくための政府による取り組みもあり、個人消費や輸出に持ち直しの動きがみられるものの、依然として先行き不透明な状態が続いております。

当社は、「for Startups」という経営ビジョンを掲げ、成長産業支援事業として「タレントエージェンシー」及び「オープンイノベーション」の2つのサービスを展開しております。

各サービス別の経営環境及び経営成績は次のとおりであります。

・タレントエージェンシーサービス

タレントエージェンシーサービスは、スタートアップ企業向けに人材紹介を中心とした人材支援サービスを提供しております。新型コロナウイルス感染症により、クライアントであるスタートアップ企業の多くにおいて採用計画の見直しが図られ、感染症流行前と比較して、求人案件数の減少が確認されております。

求人案件数は第1四半期を底に回復傾向にはあるものの、ゆるやかな回復であり、第3四半期累計期間においては、総じて厳しい状況となりました。このような状況下において、当社は採用ニーズの強い企業や経営幹部層・エンジニアなど、需要の高いポジションの支援強化に継続的に取り組みました。その結果、紹介人数は前年同四半期比で減少となったものの、取引単価が上昇し、当第3四半期累計期間における売上高は843,372千円（前年同期比4.7%減）となりました。

・オープンイノベーション

当社が運営するデータベース「STARTUP DB」を活用したコンサルティングサービスを提供しております。新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、従来の大手企業のオープンイノベーション関連投資は全般的に見直しが図られてはいるものの、新規事業創出や既存事業変革を優先度高く向き合う大手企業の予算は引き続き底堅く推移しております。このような状況下において、大手企業及び官公庁に対し営業強化を行った結果、売上高は28,249千円（前年同期比53.7%増）となりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は871,621千円（前年同期比3.6%減）となりました。また、採用強化に伴う人件費増等により、営業利益は87,936千円（前年同期比64.3%減）、経常利益は93,447千円（前年同期比61.9%減）、四半期純利益は53,848千円（前年同期比66.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は1,321,599千円となり、前事業年度末に比べ190,974千円増加しました。これは、主として借入の実行に伴い現金及び預金が227,796千円、未収還付法人税等が22,960千円増加した一方で、売掛金が30,608千円、投資有価証券が16,741千円、繰延税金資産が15,997千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は322,465千円となり、前事業年度末に比べ74,432千円増加しました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金66,664千円、長期借入金100,004千円増加した一方で、未払法人税等が55,106千円、賞与引当金が29,647千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は999,133千円となり、前事業年度末に比べ116,541千円増加しました。これは、主として新株予約権の行使払込による資本金31,506千円、資本剰余金31,506千円の増加の他、四半期純利益53,848千円を計上したことによる利益剰余金の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの収束時期につきましては、2度目の緊急事態宣言の発出及びその延長がなされるなど、引き続き不透明な状態が続いております。

当社の主力サービスであるタレントエージェンシーにおいては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、クライアント企業における求人案件数の減少や採用活動の遅延といった影響が生じております。現時点においては、求人案件数は緩やかに回復し、影響は緩和されつつありますが、未だ感染症流行前の水準には戻っておりません。

このような状況下において、当社は引き続き、採用ニーズの強い企業や経営幹部層・エンジニアなど、需要の高いポジションの支援強化に取り組んでまいります。

2020年11月6日に開示いたしました2021年3月期の業績見通しについては、上記状況が継続すると予想した前提で策定しており、数値に関しては変更ございません。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明であることから、業績予想の検討を引き続き行い、修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定です。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	816,350	1,044,146
売掛金	117,872	87,263
その他	19,233	43,659
流動資産合計	953,456	1,175,069
固定資産		
有形固定資産	32,849	31,524
無形固定資産	7,338	5,666
投資その他の資産	136,980	109,338
固定資産合計	177,168	146,529
資産合計	1,130,624	1,321,599
負債の部		
流動負債		
未払金	73,718	75,161
1年内返済予定の長期借入金	—	66,664
未払法人税等	55,106	—
未払消費税等	36,544	14,011
賞与引当金	49,018	19,371
紹介収入返金引当金	6,897	5,308
その他	26,748	41,945
流動負債合計	248,032	222,461
固定負債		
長期借入金	—	100,004
固定負債合計	—	100,004
負債合計	248,032	322,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	178,192	209,699
資本剰余金	178,192	209,698
利益剰余金	525,542	579,391
株主資本合計	881,927	998,789
新株予約権	664	344
純資産合計	882,591	999,133
負債純資産合計	1,130,624	1,321,599

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	903,805	871,621
売上原価	132,517	138,771
売上総利益	771,288	732,850
販売費及び一般管理費	525,166	644,913
営業利益	246,122	87,936
営業外収益		
投資有価証券売却益	—	6,017
受取賃借料	740	—
その他	106	386
営業外収益合計	846	6,403
営業外費用		
支払利息	—	483
投資事業組合運用損	—	410
上場関連費用	2,000	—
営業外費用合計	2,000	893
経常利益	244,968	93,447
特別損失		
投資有価証券評価損	—	10,499
固定資産除却損	357	—
特別損失合計	357	10,499
税引前四半期純利益	244,611	82,947
法人税、住民税及び事業税	74,192	13,101
法人税等調整額	10,818	15,997
法人税等合計	85,010	29,098
四半期純利益	159,601	53,848

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、成長産業支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。